

調査事例紹介：その 40

えんどう豆と待兼山



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。

そのうちの一部をご紹介します。

Q. 赤えんどう豆と青えんどう豆では、含まれる栄養について違いがあるか知りたい。

A. 『日本食品標準成分表 2015 年版』（全国官報販売協同組合）P54-55 に、青えんどう、赤えんどうについてそれぞれ、乾燥状態とゆでた状態の主な含有成分について記載されており、これによると、青えんどうと赤えんどうでは含有成分にほとんど差はないが、ビタミンAの項目（カロテンβ、βクリプトキサンチン、βカロテン当量、レチノール活性当量）のみ、青えんどうの方が含有量が多いことが示されていた。

Q. 待兼山に登りたい。

A. 豊中市待兼山町にある大阪大学の場所が待兼山にあたる。

『大阪府地名大辞典』（角川書店）p.1119「待兼山」には「千里丘陵の西部にある小山。標高 77.3m。」「待兼山山頂付近（待兼山町）には前期古墳である待兼山古墳がある。」と書かれている。『都市地図 大阪府 4 豊中市』（昭文社）で確認すると大学内北西の位置、箕面市との境に待兼山の三角点がある。ちなみに、『日本山名総覧』（白山書房）によると待兼山は府内の山で 12 番目に標高が低い。

これらの事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「レファレンス事例をさがす」のページから、フリーワード「赤えんどう豆」「待兼山」で検索してみてください。